

平成24年2月22日

広島大学北京研究センターの
「岡山大学との共同利用」開始について

広島大学北京研究センターは、平成24年4月1日から岡山大学との共同利用を開始します。

今後、広島大学と岡山大学は、共同利用に関する覚書を交わし、平成24年4月25日に北京研究センターにおいて、岡山大学の北京事務所開所式を行う予定です。

同センターは、日中教育研究や留学生交流を積極的に推進する海外教育研究拠点として活動しています。

なお、本センターの共同利用は、福山大学、山口大学に続いて、岡山大学で3大学目になります。

○広島大学北京研究センター

広島大学初の海外教育研究拠点として、2002年10月25日に、中華人民共和国北京市にある首都師範大学国際文化学院の中に設置されました。

センターの設置目的は、(1)研究者相互の共同研究及び研究者交流の支援、(2)優秀な留学生の確保、(3)広島大学からの留学支援、(4)日本事情の紹介と情報発信、などであり、現在これらの目的を達成するために具体的な取り組みが進められています。

首都師範大学国際文化学院の新研究棟完成に伴い、2004年10月に新研究棟内に移転し、従来の約5倍の面積に拡充しました。会議室・事務室・教室・茶室などを備えており、日本語の堪能な現地スタッフもいます。

【お問い合わせ先】

広島大学
平和・国際室国際交流グループリーダー
下田
TEL:082-424-6041